

【2007年度】

(講演)

1. 基調講演 ヘルスケアフロンティアビジネスセミナー 「眠り関連ものづくりビジネスセミナー」において「眠る技術、目覚める技術、そして眠りを楽しむ技術によるものづくりイノベーションの現状と今後の展望」の演題で講演実施。2007年3月27日 大阪産業創造館
2. ヘルスケアフロンティアビジネスセミナー 「眠り関連ものづくり工房」において「ITを活用した快眠ソリューションの可能性」の演題で講演実施。2007年7月23日 大阪産業創造館

(著書・論文・学会発表など)

(著書)

1. ストレスの科学と健康 二木鋭雄編著 ストレスの緩和・軽減「睡眠」共立出版 202-205, 2008

(学術論文)

1. 豊福 史、山口和彦、萩原 啓：心電図 RR 間隔のローレンツプロットによる副交感神経活動の簡易推定法の開発、日本人間工学会誌 43(4):185-192, 2007
2. 山口和彦、豊福 史、萩原 啓：接触振動圧刺激が心身の生理・心理機能に及ぼす影響、ヒューマンインタフェース学会論文誌 9(4):115-124, 2007

(学会発表論文)

1. 中村美穂、橋崎将典、萩原 啓：NIRS 計測を用いた追従反応課題時における生理変化の定量化、シンポジウム「モバイル 2007」 11-14, 2007
2. 橋崎将典、中村美穂、萩原 啓：認知パフォーマンスと脳内血中酸素化ヘモグロビン濃度変化との関係、シンポジウム「モバイル 2007」 123-126, 2007
3. 小川 梢、芝垣佑美、萩原 啓：心拍ゆらぎの特徴を用いた音刺激による生理的影響の評価、ヒューマンインタフェースシンポジウム 2007 1001-1006, 2007

4. 橋崎将典、中村美穂、萩原 啓：脳内血中酸素化ヘモグロビン濃度と認知判断パフォーマンスとの関係、ヒューマンインタフェースシンポジウム 2007 1013-1018, 2007
5. 芝垣佑美、小川 梢、萩原 啓：照度の差異による認知判断作業中の生理・心理・行動の変化及びパフォーマンスの推定、計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会 2007 381-386, 2007
6. 中村美穂、橋崎将典、萩原 啓：NIRS 計測による追従反応課題時の脳内反応の定量化、計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会 2007 387-392, 2007
7. 稲本辰巳、金倉智行、萩原 啓： α 波成分の周波数推移による覚醒度評価の検討、平成 19 年度日本人間工学会関西支部大会 143-146, 2007
8. 城 和男、緒方康博、小西謙作、若林春樹、萩原 啓：種々のセンシング手段による睡眠時体動の特徴の明確化、平成 19 年度日本人間工学会関西支部大会 147-150, 2007
9. 金倉智行、稲本辰巳、萩原 啓：脳波を生理指標とする覚醒度変化と重心動揺との関係、平成 19 年度日本人間工学会関西支部大会 151-154, 2007
10. 松井まり子、石丸園子、萩原 啓：歩行感に優れる靴下に関する研究、平成 19 年度日本人間工学会関西支部大会 49-50, 2007

以上